

第 23 回 新木地区「地域会議」議事録

令和 5 年 6 月 25 日（日）

- 開催日時： 令和 5 年 6 月 25 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 「ボランティア活動」について

■議事

1. 開会挨拶

<地域会議事務局長>

おはようございます、ただいまより第 23 回新木地区地域会議を開催させていただきます。本日はボランティア活動をメインの議題としていますが、前回の議事録も資料として添付していますので話したりないことがあれば活発な意見交換をしていただければと思います。

この新木地区の地域会議もみなさんのご協力によりまして 8 年目を迎え、素晴らしい環境が出来上がってきています。高齢者の買い物支援ということで移動販売車が走っていますが、これも地域会議で推薦したことがきっかけでした。最近は防災関係の話も多く話し合ってきましたが、今日も楽しく言葉のキャッチボールを行っていただければと思います。

2. 我孫子市より

<市民協働推進課 係長>

みなさんおはようございます。

この地域会議は、地域に根付いた団体が福祉、子育て、防災、防犯など意見交換し市民が主役と、連携協力を行う市民が主役の話し合える場であります。地域を活性化する事業の一つとして我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針に位置付けた事業でもあります。

我孫子市には 5 つの地区で地域会議を行っており、他地区でも具体的な活動につながった事例もあります。我孫子北地区では個人情報保護法をテーマに講演会が行われました。我孫子市としても新木地区をはじめ地域会議や地域の皆様の活動を支援していきたいと思いますので、本日はよろしくお願ひします。

3. グループ討議

<地域会議事務局長>

ボランティア活動をテーマとした話し合いは今回 2 回目になります。前回から 4 カ月ほど時間がある中、事務局含めてプロジェクトを開催し次の議題を決めている中で、今回はボランティア活動についてもう少し意見交換し共有していきたいという話になりました。皆さんが日ごろ思っていることを井戸端会議として楽しくお話していただければと思います。

<自己紹介>

※割愛

- まずは自治会活動が一番身近で大切なボランティアだと思いますが、皆様のご意見を聞かせていただければと思います。
- 南新木自治会ではここ3年位コロナでイベントができなかったが、今年になって活動が始まった。
 - 3つのイベント、ラジオ、夏まつり、餅つき、を南新木1丁目と共催する。
 - 夏まつりは、3年前まで行っていた担当者がいないことと開催まで時間がないということで今年は実施しない見込み。
 - ラジオ体操は、前期・後期で実施予定。駅前掲示板にチラシを張っている。
 - 餅つきは11月末。時間があるのでできそう。
 - 今後、徐々に活動を増やしたいと思う。
 - また年に2回ゴミ0運動を行っているが、地域コミュニケーションの一助ともなっている。
 - 私も14年自治会長やっており、体の無理が出てきて容易ではないなという状況。モチベーションも下がってきており、来年は代わって欲しいと(笑)
- 新木・新木団地自治会も夏まつりを3年やっておらず、今年はやりたいと思っている。
 - 会議では話がエスカレートして、農業まつりとして7月にやろうという話がしている。
 - 一番の問題はボランティア。自治会の役員さんをお願いしたいが土日は休みたい。
 - 実行委員は一人3人くらい勧誘してほしいところ。
 - どう参加していただくか。楽しさがなければ集まらない。
- まち協もここ3年くらいイベントはキャンセルまたは縮小しての実施であった。
 - 今年は寺子屋を始めた。勉強の習慣づけをテーマに毎週木曜に始めたが、生徒がまだ集まっていない。
 - 春まつりでは我孫子東高校のボランティアが来てうな吉さんに入ってくれた。グランドゴルフでは40人ぐらいの子供さんが参加されて、嬉しそうにしていた。
 - 大人が場所を作ってやれば子供も参加できてみんな楽しんでる。
 - 個人的に第4小学校で学童保育をやることになっているが、けん玉を教えることになっている。どうやって子どもと触れ合うかを話し合いに行く。
 - このように地域の活性化を行いたいと思うので、皆さんの知恵がもらえればうれしい。
- ボランティア活動の年齢層に偏りがあることに問題がありそう。
 - 私がまち協に入ってきたのは62歳、今は83。
 - 入った頃は多くが私と同じ年齢層だったが、今は70台80台がほとんど。
 - 南新木自治会は若い自治会だが、協力度が違ってきているようにも思う。ここらについて皆さんの考えを聞かせてほしい。
- 自治会だけでなく年齢層、子供の層も考え方も違うし、ここの皆さんの年代と40・50台の考え方が違うというのを感じる。
 - 近隣を見回すと、家庭の単位で動いているように見える。町として隣近所の共助というのが見えないように思う。
- 今の小学校は、放課後校庭を放課後公開（子供たちの遊び場として）あるか？
 - 基本的に今はすぐに下校。

→低学年は下校が3時。遅くなると学校に電話がかかってくる。

→昔みたいに放課後ランドセルを投げて校庭で遊ぶということはなくなっている。

→共稼ぎの家庭は、塾とかサークルなど子どもを預ける時間を引き延ばして何とかやっている。

- 例えば回覧板を回しているが、どのくらい見ているか？あまり見てないんじゃないかを感じる。
- 地域がやっていることがあまり見えないのでは？
 - 例えば花壇でも、楽しさが見えて気軽に集まることができればと思う。
- 何をしているかを宣伝・アピールすることが大切だと思う。
- 和の精神、例えば学校で上級生と下級生と一緒に給食を食べるというのも良い。
 - (年齢を超えた付き合いで) 兄弟のような関係ができる。
 - 年上の人に教えてもらうのは、子供にとってもいいと思う。
- 今、地域によって年代が固まっている。
 - お互い顔を合わせる機会が少ない。
 - こういう集まりに来てもらい、顔を合わせる機会を増やすということが大事だと思う。
- 私は40数年前にここに来たが、その頃は子供があちこち出てきていた。
 - 南新木は若い、新木地区は高齢者が多く子供が少なくなってくる。
 - 新木小は今年で44年で、市内だと新しい方。
 - 1学年60人前後で2クラス。年々減ってきている状況。
- 川崎の例だが、自治会が音頭を取ってサロンのようなことをやっている。
 - 100円徴収して、自治会のシルバーたちの集まりをやっている。
 - 40台の若い女子(外国人)もいて、感心したのを覚えている。
- 大学の1コマでZoomを利用したオンライン授業があり、シルバー施設とつなげて授業。
 - 高齢者と大学生1年生と一緒にゲームや会話を行っている。
- 時代が変わってきている。親が共働きのせいもある。
- ふらりえでは、参加者を集めようと考えて始めたのがクラシック、昭和歌謡。
 - 初めての方が増えた。こういうことを始めると、思いがけない人が参加してくれる。
 - みんなどこかに参加したいと思っている。
- グループホームは認知症の施設でかれこれ20年経つ。
 - コロナがなければ毎月ボランティアの方が入って入居者も楽しい時間を過ごせた。
 - 認知症の方は刺激がないと症状が進む。以前太鼓の練習を見に来たことがあるがとても喜んでいて、そういった楽しいことを経験させるためにもボランティアに来ていただきたい。
 - 学校で草抜きボランティアしている方がいるが、声掛けしてもらえれば参加できる人も増えると思う。
 - 以前は小学生が職業体験でグループホームに来ていた。最近は来なくなったが・・・？
 - 昔は小学生も1日派遣していたが、市の方針で小学校は話を聞く、中学校は派遣という形になった。
 - お年寄りの子供が大好きなので、ふれあいは増やしたいと思っている。
 - そういう機会を学校でも考えてもらえると助かる。
- 昔は子供会というものがあったが、解散している自治会もある。
 - 自治会共同で夏まつり行うとき、子供会はとても積極的なので助かる。
 - 今現在、各地域で子供会はだいぶ減っている

→スポーツ、塾、なかなか集まらず解散しているということも聞いている。

→親も子も地域とは別の交流を望んでいると思う。

趣味や子供の活動が中心で、地域の活動に目がいかなくなっているように思う。

- 今は PTA やボランティアも嫌がる親が増えている。
- 昔は子供を中心に地域がまとまっていた。
 - 高齢化が進むにつれ子供がいなくなり、近所が疎遠になってきた。
- つながりがないと、知らない人ばかりのボランティアには入りにくい。
- チラシで募集してもなかなか来ない。定着しない。
- PTA やボランティアは楽しくなければなかなか人が集まらない。
 - 対面で話してつながりを作るしかないと思う。
- 高齢者団体同士でつながりを作るのも良い。
 - 色々ルールもあるが、積極的につなげていきたい。
- 家から出ないと鬱になる。
 - まち協など、ボランティアで誰かとかかわることで元気になる。
- 新木のおうちで 20 年やっている。
 - 現在 65 歳だがあと何年できるか。
 - 70、75 過ぎたときに元気でいたらボランティアに携わりたい。
 - 家に入ったら認知症になってしまいそう(笑)
 - それを防ぐためにも地域のボランティアに参加したい。
- 楽しいというのがないと、続かない。

5. まとめ

<地域会議事務局長>

本日のみなさんの意見を集約して課題を見つけ、今後も地域会議を進めていきたいと思います。次回は 10/25 に予定しています。

地域コミュニケーションを活性化し皆さんが楽しく参加できる環境づくりを続けていきたいという市の思いがあります。ボランティアも楽しく続けるというのが大事だと思っています。次回も楽しく会話できるよう続けていきたいともいますので、皆さんよろしくお願いします。

本日はご多忙の中お集まりいただきありがとうございました。

※配布資料

- 1) 第 23 回新木「地域会議」(資料)
- 2) 第 22 回新木地区「地域会議」議事録 (事前配布)